



シリーズ205

高めよう！ 人権意識

心のかけ橋

問 人権推進課
(☎928-1006)

高齢者虐待について、
みんなで理解し、防ぎましょう

思いと行動は違います！

高齢者への虐待が年々増えてい
ます。虐待をしている側もされている
側もその自覚がないことが多く、介
護の大変さから無意識のうちに高齢
者に強く当たってしまうことがあります。
「そんなつもりはないのに…」
と思っている、虐待になっているこ
とが少なくありません。

毎日の暮らしの中で、もう一度高
齢者との接し方を振り返り、みんな
で考えてみましょう。

どんなことが虐待になるの？

体や心を傷つけること、世話をし
ないことなども虐待になります。

○無理やり食事を口に入れる（身体
的虐待）

○高齢者が話しかけているのを意図
的に無視する（心理的虐待）

○食事を十分に与えない（ネグレク
ト）

○家族が年金や通帳などを管理し、
本人の意志・利益に反して使う
（経済的虐待） など

高齢者への虐待は、さまざまな形
で現れるのが特徴です。虐待は表面
化しにくく、気が付いたときには、
深刻な事態になっている場合もあり
ます。

虐待を防ぐには どうすればいいの？

虐待を受けている高齢者の多くは、
要介護認定を受けており、その中で
も認知症の人が約半数を占めていま
す。認知症の人は虐待を受けていて
もあまり自覚することができず、そ
の辛さをつまく相手に伝えられない
こともあります。また介護をする人
の介護疲れや認知症などに対する無
理解、福祉サービスなどについての
知識不足、経済的困窮などさまざま
なものが虐待の要因として考えられ
ます。

介護をする人や周りの人が高齢者
の状況を正しく理解し、介護や支援
をしていくことが大切です。

「ローズマインド（思いやり・やさ
しき・助け合いの心）」を实践に

安心して生活できる家庭や地域を
めざすためには、相手を理解しよ
うとする気持ちが大切です。また、地
域の見守りや声かけなどが高齢者や
家族を支えます。



誰もが住み慣れた地域で生き生き
と自分らしい生活を続けられるよう、
みんなの力を合わせて安心して暮ら
せる社会を築いていきましょう。

気になることがあれば気軽に相談
してください。

問 高齢者支援課 (☎928・1065)、
健康推進課 (☎928・3421)、松
永 (☎930・0414)・北部 (☎976・
1231)・東部 (☎940・2567)・
神辺 (☎962・5055) 保健福祉課、
沼隈支所保健福祉担当 (☎980・77
04)、権利擁護支援センター (☎
928・1353)

人権は 人の命を 守るもの